

(資料1)

日本版DMO形成・確立計画（修正作成中・案）

1. 日本版DMOの組織

申請区分	広域連携DMO・ <u>地域連携DMO</u> ・地域DMO	
日本版DMO候補法人の名称	一般社団法人 四国の右下観光局	
マーケティング・マネジメント対象とする区域	区域を構成する地方公共団体名 阿南市、那賀町、牟岐町、美波町、海陽町	
所在地	徳島県海部郡美波町奥河内弁才天17番地1	
設立時期	平成30年3月23日（平成30年7月31日 日本版DMO候補法人登録）	
職員数	7人 [会長は非常勤、常勤6人（内出向者5人）]	
代表者（トップ人材：法人の取組について対外的に最終的に責任を負う者） ※必ず記入すること	（氏名） 中東 覚 （出身組織名） NPO法人日和佐まちおこし隊理事長	美波町役場に勤務し、副町長で退職。退職後は、NPO法人理事長として、地域に密着した町おこしに取り組むとともに、商工会の会長として従事。長年に培った知識と経験で、関係1市4町の行政・民間企業等との取りまとめ役を担う。
各種データの分析・収集等（マーケティング）の責任者（専門人材） ※必ず記入すること	（氏名） 竹内 靖（専従） （出身組織名） JTB	大手旅行会社にて、国内向けの企画商品造成・販売、オンラインサイトの開発、マーケティングの分析に24年間従事。プロモーション活動、旅行商品の造成・販売、関係者との合意形成に関する高いスキルとノウハウを有する。
連携する事業者名及び役割	（観光振興） 阿南市観光協会、那賀町観光協会、牟岐町観光協会、美波町観光協会、海陽町観光協会、四国ケーブル株式会社 （商工振興） 阿南商工会議所、那賀川町商工会、羽ノ浦町商工会 那賀町商工会、牟岐町商工会、美波町商工会、海陽町商工会 （宿泊・着地型旅行商品） 一般財団法人まぜのおか、株式会社漁火、むぎ青空プロジェクト、クーランマラン、クラブコルツ、サステナブル阿南 （教育旅行） 南阿波よくばり体験推進協議会 （地域振興） 株式会社 KITO DESIGN HOLDINGS、株式会社あわせ （交通） 阿佐海岸鉄道株式会社、 （観光地域づくり等） 「四国の右下・魅力倍增」推進会議	

(資料1)

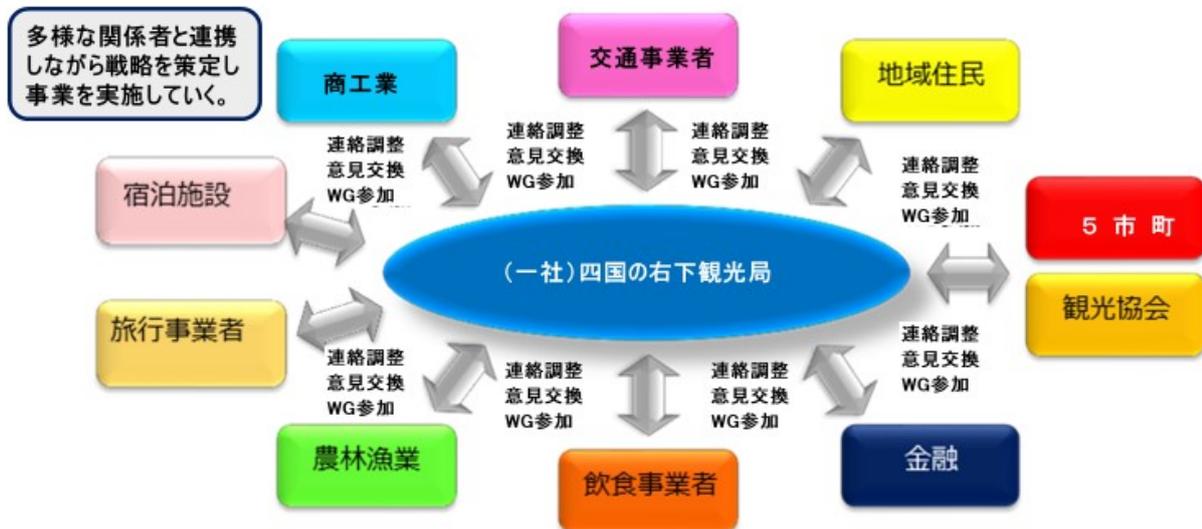
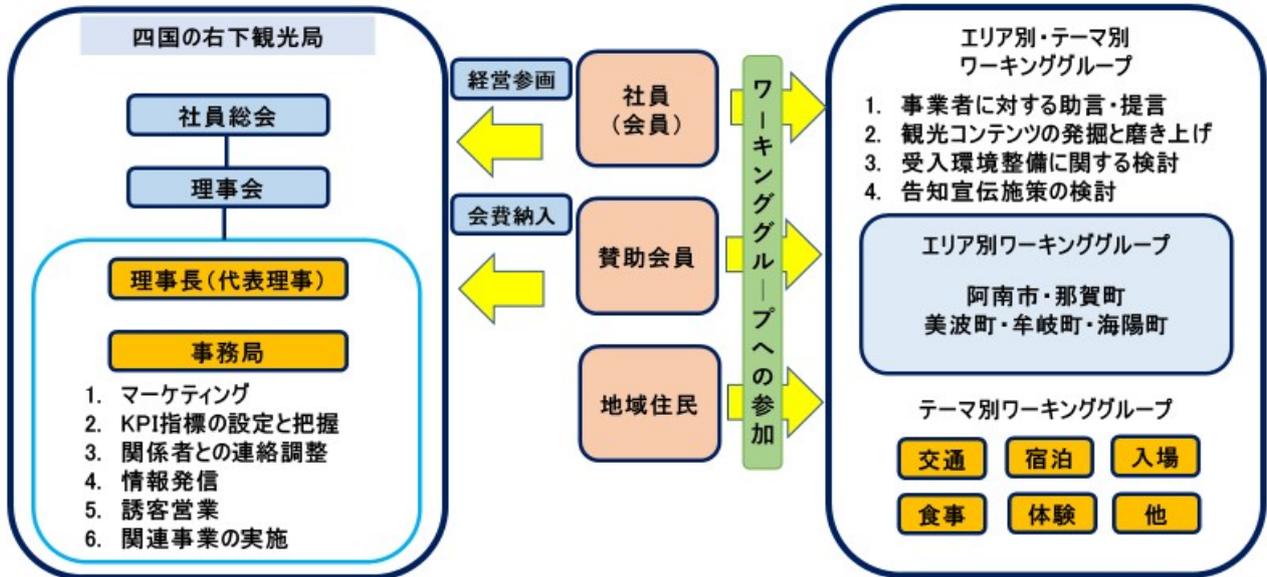
<p>官民・産業間・地域間との持続可能な連携を図るための合意形成の仕組み</p>	<p>(該当する要件)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 取締役、理事など日本版DMOの意思決定関与できる立場に、行政、文化、スポーツ、農林漁業、交通等の幅広い関係団体の代表者が参画すること。 ● 日本版DMOが行う取組に関する連絡調整を行うため、行政や関係団体から構成される協議会等を別に設置すること。 <p>(概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● DMOの運営や方針を検討・決定する当法人の理事には、商工会議所・商工会(商工振興)、観光協会(観光振興)、株式会社あわえ(地域振興)、徳島県南メディアネットワーク株式会社(マスコミ、情報発信等)、一般財団法人まぜのおか(宿泊・旅行商品)、四国ケーブル株式会社(観光事業者)NPO法人日和佐まちおこし隊(地域振興)からの代表者が就任。各市町の行政関係者(部課長)はオブザーバーで参画。 ● 関係者全員の合意形成を図る実務レベルの「四国の右下・魅力倍増」推進協議会(行政、観光団体、商工団体、農林団体等で構成)において、観光地域づくりに関する各種事業への助言・提言や評価・検証を受けるとともに、観光素材の発掘とブラッシュアップ、旅行者の受入体制の充実、効果的なプロモーション等に関する事業実施に向けての検討を行っている。 <p>更に、各市町の行政、宿泊・観光・飲食事業者・住民団体等が参画するワーキンググループを定期的に開催し、担当者及び実務者レベルのより具体的な事業展開について検討を加えるなど、これらの合意形成の場の仕組みを構築することで、官民・自治体間、地域間との持続可能な連携を図っていく。</p>
<p>地域住民に対する観光地域づくりに関する意識啓発・参画促進の取組</p>	<ul style="list-style-type: none"> ① 外国人おもてなしセミナー 増加する外国人に対する地域住民のおもてなしの心を醸成するとともに、ソフト面での受入体制の充実を目的として、宿泊・観光事業者・地域住民を対象に、おもてなしの心を持った観光地域づくりの大切さに関する講義、キャッシュレス促進、適切な宿泊対応等に関するセミナーを開催している。 ② 通訳人材養成セミナー 観光資源の魅力を来訪者に効果的に伝えるスキルとノウハウを要請することを目的として実施(県主催)された養成セミナーに、現地研修開催等で参画している。 ③ 地域の企業研修や大学等での講師派遣 観光地域づくりの重要性を幅広い分野に直接アピールすることを目的として、企業内研修や大学等へ公開講座に講師として参加している。

(資料1)

<p>法人のこれまでの活動実績</p>	<p>(活動の概要)</p> <p>①受両会社機能の確立 旅行サービス手配業登録。旅行会社への宿泊・運輸等のサービス手配</p> <p>②観光人材の育成 観光客の受入体制の整備を促進するため、外国人おもてなしセイナー、通訳人材養成セミナー等を開催した。加えて、外国人ベジタリアンへの適切な対応を図るための講座を開催 (R1 年 5 月)</p> <p>③商談会等への参加 旅行商品の PR・提供を行うため、国内外の商談会に参加 (国内 8 回 : 国外 2 回) し、併せて旅行会社に戸別営業 (40 社訪問) を実施。そのほかメディア向けのツアーのアテンド (5 回) を行った。</p> <p>④各種媒体を利用した PR Web 上での観光コンテンツの検索・体験プログラムの予約、SNS を利用した情報発信、京阪地区への新聞広告、旅行雑誌への広告、交通機関 (電車) を利用した中吊り広告など、種々の媒体を利用した PR を行った。</p> <p>⑤公式ネットショップの新規開設 地元の食材を利用した商品をネット上で販売するとともに、新鮮な海産物を利用した宿泊付きプランを企画・PR。</p> <p>⑥インバウンド向けイベントを見据えた機運醸成 東京オリンピックやワールド・マスターズ・ゲームズ関西の機運醸成を図るため、サーフィン教室やトライアスロン・クリニックを開催。</p>
<p>実施体制</p>	<p>(実施体制の概要)</p> <p>当法人は、エリア内の観光地域づくりの旗振り役として、地域の多様な関係者との合意形成を図りながら、</p> <p>①マーケティング (継続的なデータの収集・分析、仮説・検証) を踏まえた観光商品の造成・提供</p> <p>②PDCA サイクルにおける KPI 指標の数値化</p> <p>③幅広い関係者との連絡調整・意見交換の場のネットワーク構築</p> <p>④多様な媒体を利用した一元的な情報発信</p> <p>⑤誘客のためのプロモーション・営業活動 などの実施機能を担っている。</p> <p>当法人の社員は、最高意思決定機関である総会において事業実績・計画等について検討・検証を行うとともに、地域の事業者・団体・住民等で構成するワーキンググループにおいては、観光素材の発掘・磨き上げ、受入体制整備などの具現化に向けて取り組んでいる。更に、行政・金融機関・民間企業で構成する評価会議において、外部からの事業の評価・検証を受ける体制を整備している。これらの場で得られた幅広い意見や提言を受け止め、当法人が、継続して効果的な観光地域づくりを推進できるよう取り組んでいる。。</p> <p>(実施体制図) 次ページ</p>

(資料1)

実施体制図

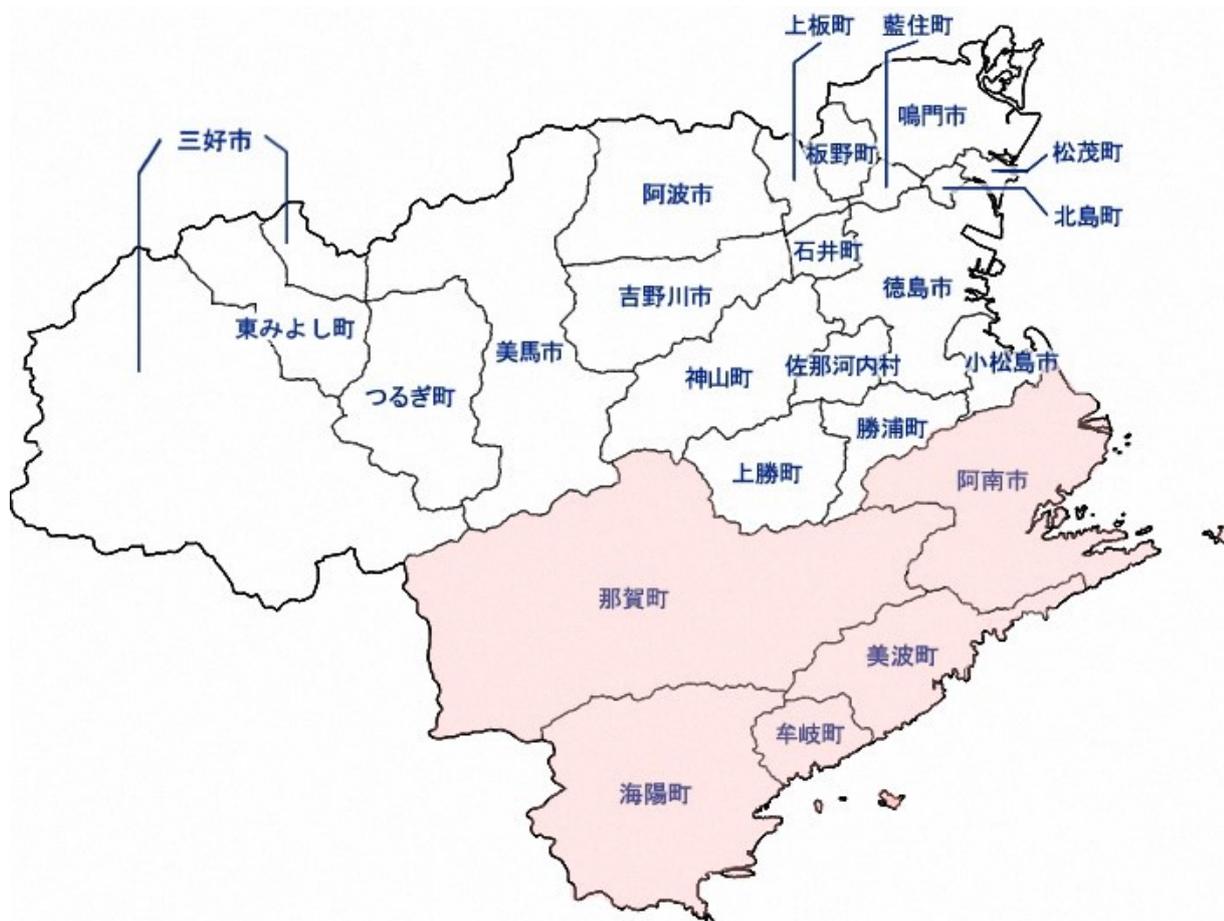


2. 日本版DMO候補

(資料1)

法人がマーケティング・マネジメントする区域

【区域の範囲が分かる図表を挿入】



【区域設定の考え方】

平成27年度から徳島県南部の1市4町の商工会議所、商工会、観光協会、地方公共団体等で構成する「四国の右下・魅力倍増」推進会議において、顧客視点に立った、観光PRや物産の販売等を行ってきた。平成30年の当法人設立後は、当法人がエリア内の観光地域づくりの旗振り役となって、地域との合意形成を図りながら、各種事業を展開。

同区域は、従来から県南部地域として各市町間でのつながりも深く、観光資源の面からみてもコンセプトとして共通する点が多く、当該1市4町で連携した区域設定とするのが適切。

【観光客の実態等】

平成30年度に宿泊調査と来訪者アンケートなどのKPI関係調査を実施。来訪者満足度は概ね25前後、リピーター率は8割を超えているが、約8割は日帰りの訪問（宿泊率約3割）であり、今後、地域の観光資源を最大限に活かした、折り紙付きの着地型・滞在型の旅行商品の造成に積極的に取り組み、更なる誘客を実現していく必要がある。

【観光資源：観光施設、商業施設、自然、文化、スポーツ、イベント等】

(資料1)

四国88箇所(21番～23番札所)、岩脇公園(桜の名所)、北の脇海水浴場、淡島海水浴場、午尾の滝、明谷梅林園、椿自然園、阿南市立阿波公方・民俗資料館、阿南市科学センター、牛岐城趾公園(LEDイルミネーション)、津峯神社、お松大権現(猫神社)、かも道(四国遍路の最古の遍路道)、蒲生田岬(四国最東端)、かもだ岬温泉、伊島、ぽっぽマリン、田井ノ浜海水浴場、日和佐うみがめ博物館カレッタ、大浜海岸、うみがめマリンクルーズ、日和佐城、千羽海崖、南阿波サンライン、とどろの滝、貝の資料館モラスコむぎ、出羽島、牟岐大島千年サンゴ、まぜのおかオートキャンプ場、阿波海南文化村、大里松原海岸、水床湾、海中観光船ブルーマリン、竹ヶ島シーカヤック、阿佐海岸鉄道、海部川、轟の滝、剣山、木頭杉一本乗り、太布織り、大轟の滝、大釜の滝、四季美谷温泉、ファガスの森、相生森林美術館、もみじ川温泉、川口ダム自然エネルギーミュージアム、相生森林文化公園あいあいランド、太龍寺ロープウェイ、CAMP PARK KIT0、アクティビティ(サーフィン、SUP、スキューバダイビング、シーカヤック、ヨット、カヌー)、乗馬、森林づくり体験、農村舞台、藍染め、野球、キャンプ場、フルマラソン、トレイルランニング、登山等、エキサイティングサマー・イン・ワジキ

【宿泊施設：域内分布、施設数、収容力、施設規模等】(2019年4月時点)

市町名	施設数	客室数	収容力(人)
阿南市	57	1,149	2,552
那賀町	16	130	533
牟岐町	10	95	536
美波町	27	211	851
海陽町	25	227	864

(徳島県南部総合県民局の独自調査による。)

【利便性：区域までの交通、域内交通】

1 区域までの交通(DMO事務所がある美波町まで)

① 航空機

東京～徳島阿波おどり空港 80分 (1日片道11便)

福岡～徳島阿波おどり空港 70分 (1日片道2便)

※阿波おどり空港から車で、美波町まで約90分。

② 鉄道

徳島駅～美波町 60分

③ 高速バス

大阪駅～徳島駅 140分

神戸三宮～徳島駅 120分

京都駅～徳島駅 180分

関西空港～徳島駅 165分

高松駅～徳島駅 60分

高知駅～徳島駅 170分

松山駅～徳島駅 210分

(資料1)

岡山駅～徳島駅 150分
広島駅～徳島駅 245分
(直通) 大阪駅～阿南駅 215分(1日片道3便)
大阪駅～阿南駅～日和佐駅 270分(1日片道5便)

※徳島駅から車で美波町まで約70分

④ フェリー

徳島港～和歌山港 125分
東京港(有明)～徳島港～北九州(新門司港)

2 域内交通

- ① 路線バス(徳島バス、徳島バス南部)
- ② タクシー(橘タクシー、相生タクシー、海部タクシー、牟岐タクシー、海南タクシー、由岐タクシー ほか)

【外国人観光客への対応】

●Webの多言語化(英語)、滞在型コンテンツの充実、国内外ツアー会社への戸別営業活動や、地域の関係者と連携した海外商談会への積極的参加などにより、外国人観光客の誘客促進に取り組む。

●道の駅日和佐の観光案内所(JNTO認定)が設置されており、美波町観光協会内で外国人観光客への面談対応等を行っている。また、民間事業者を対象に、県が助成制度を設けており、宿泊施設内の多言語表記化等も促進している。

3. 各種データ等の継続的な収集・分析

収集するデータ	収集の目的	収集方法
Webサイトのアクセス状況 (アクセス数・宿泊予約数・体験プログラム予約数)	閲覧者や潜在旅行客等のニーズや関心度等の把握、施策の効果等を把握し、今後の事業に反映させるため	自主事業(外部委託)として実施
延べ宿泊者数	エリア全体及び個々の地域の宿泊者数の動向を把握するため。	宿泊施設に協力依頼
外国人延べ宿泊者数	エリア全体及び個々の地域の外国人宿泊者数を把握するため。	宿泊施設に協力依頼
旅行消費額	観光による地域への経済波及効果を測定し、飲食や物産等の分野別消費額を把握することで地域の強みや弱みを評価・分析し、消費額増加に向けた取組みを検討する。	宿泊・観光施設等に協力依頼
	来訪者の分野別の満足度を把握	宿泊施設・観光施設等に協力依頼

(資料1)

来訪者満足度	し、リピーター率・旅行消費額増加に向けた取り組みを検討する。	
リピーター率	観光施設や観光コンテンツごとのリピーター率を把握し、来訪者満足度向上・旅行消費額増加に向けた取り組みを検討する。	宿泊施設・観光施設等に協力依頼
主要観光施設の入込客数	エリア全体及び個々の地域の観光入込客数を把握するため。	徳島県が取りまとめる観光施設入込客数データの内、エリア内1市4町分のデータ提供を受け収集

4. 戦略

(1) 地域の強みと弱み

	好影響	悪影響
内部	<p>強み (Strengths)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○海・山・川など豊かな自然に恵まれている ○新鮮で安全な食材が豊富 ○四国遍路、人形浄瑠璃、祭り ○お接待の文化が息づく ○関西から近距離にある ○室戸阿南海岸国定公園 ○日本トップのLED製造 ○2020年・世界初のDMV営業運転(阿佐海岸鉄道) ○IT企業の進出 ○サーフィン、サイクリング、マラソン等のアウトドアスポーツが盛ん <p>①自然・景観</p> <ul style="list-style-type: none"> ○山(1000m以上の山々、折り重なる山々、スーパー林道) ○川と渓谷(那賀川、牟岐川、日和佐川、海部川、母川、高の瀬峡、大釜の滝、轟九十九滝、牛尾の滝) ○海(蒲生田岬、千羽海崖、えびす洞、大浜海岸、牟岐大島千年サンゴ、大里松原海岸) ○海水浴場(北の脇、淡島、田井ノ浜、大砂) ○サーフポイント(内妻、宍喰、海部) ○離島(伊島、出羽島) ○四季折々の景観(梅林、桜、紅葉、雲海、樹氷など) 	<p>弱み (Weaknesses)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○情報発信が不十分 ○交通が不便 ○宿泊施設の地域偏在・魅力不足 ○観光資源の不足・活用不十分 ○温泉・テーマパークが少ない ○飲食店・カフェ・土産物店等が少ない ○食メニューが少ない ○中心商店街の魅力が少ない ○夜型の観光スポットがない ○官民・自治体・事業者間の連携不足 <p>①自然・景観</p> <ul style="list-style-type: none"> ○自然景観の荒廃、空き家 ○気象条件に左右される

(資料1)

環境	<p>②観光素材</p> <ul style="list-style-type: none"> ○温泉(かもだ岬、四季美谷、もみじ川、宍喰) ○主要観光資源 (平等寺、太龍寺(ロープウェイ) 薬王寺、城満寺、お松大権現、 うみがめ博物館、阿波海南文化村、 マリンジャムなど) ○体験プログラム (教育旅行、アウトドア) ○DMV(線路と鉄道の両方を走れる 世界初の公共交通機関) ○野球を通じた民間交流 	<p>②観光素材</p> <ul style="list-style-type: none"> ○情報発信不足 ○滞在型プログラム、着地型旅行商品の不足 ○マーケティング不足 ○体験プログラム不足 (アウトドア事業者の連携不足)
	<p>③食べ物</p> <ul style="list-style-type: none"> ○特産品(阿波尾鶏、鱧、伊勢エビ、 アオリイカ、アワビ、アカムツ、 柚、いちご、晩茶、寒茶、かきませ、 はんごろし、ういろう) ○ジビエ 	<p>③食べ物</p> <ul style="list-style-type: none"> ○高級食材(ノドグロ)が地域内で高価 ○果物不足 ○飲食店、カフェが少ない ○イートイン可能な土産物店、海産物通販所 が極めて少ない
	<p>④歴史文化・伝説伝承・暮らし</p> <ul style="list-style-type: none"> ○伝統文化 (四国八十八箇所、へんろ道、農村舞台、 地域ごとの祭り、吹筒花火、拝宮和紙、太 布、藍染め) ○漁村集落 (出羽島が重要伝統的建造物群保存地区に 選定) ○地域ごとの昔ながらの町並み 	<p>④歴史文化・伝説伝承・暮らし</p> <ul style="list-style-type: none"> ○観光資源としての活用不十分
	<p>⑤人材・地域の特色</p> <ul style="list-style-type: none"> ○中核となる関係者の魅力 (観光協会、NPO) ○移住者 (ゲストハウス、飲食店開業) ○地域おこし協力隊 (地域資源の保護、情報発信) ○ドローン特区 	<p>⑤人材・地域の特色</p> <ul style="list-style-type: none"> ○関係者間の連携不足 ○宿泊施設の老朽化・後継者不足 ○観光人材の不足
	<p>⑥宿泊施設</p> <ul style="list-style-type: none"> ○プライベートのビーチを有する 施設がある ○おもてなしで高い評価を受けている 施設がある 	<p>⑥宿泊施設</p> <ul style="list-style-type: none"> ○規模が小さく、軒数が少ない 老朽化が進んでいる ○教育旅行の受入家庭数の不足 ○古民家としての活用が少ない
	<p>⑦地理的特性・アクセス</p> <ul style="list-style-type: none"> ○AMA 構想(徳島県阿南市、 高知県室戸市、安芸市)があり、連携の 素地がある ○国定公園が高知県とつながっている 	<p>⑦地理的特性・アクセス</p> <ul style="list-style-type: none"> ○エリアまで直接結ばれている高速道路がな く、車での周遊には不便 ○JRの特急列車減便 ○2次交通の不便さ

(資料1)

外部環境	機会 (Opportunity) ○個人旅行の増加 ○2020年東京オリンピック、大阪万博などの大規模イベントによる継続的なインバウンド市場の拡大 ○ワールドマスタースゲームズ2021関西の競技開催（エリア内3町で開催） ○体験型観光への旅行スタイルの変化 ○四国遍路の世界遺産登録に向けた取組 ○徳島阿波おどり空港の国際線季節定期便 ○民泊法の施行 ○働き方改革による余暇時間の増加	脅威 (Threat) ○景気リスク ○災害リスク ○地政学リスク ○人口減少 ○他地域間との競争激化 ○労働力不足
------	---	---

(2) ターゲット

○第1ターゲット層 自然や地方の多種多様な文化を体験する機会が少ない国内大都市圏住民（個人客）
○選定の理由、 全国を対象にしたWEB調査において、当エリアへの再来訪意向者は約半数を占めており、「もう一度行ってみたい」魅力ある体験型プログラム等の商品を提供・PRすることで、更なる来訪が期待できる。特に、大都市圏からの来訪は、経済効果の高い宿泊を概ね伴うため、地方の自然・文化を体験する機会が少ない大都市圏個人客をターゲットに設定した。
○取組方針 まずは、ホームページ・SNS・新聞・雑誌など、それぞれの媒体の特性に応じた効果的な情報を強く展開する。平行して、観光資源発掘と既存観光資源をブラッシュアップ、当エリアの多種多様な自然や文化を最大限に磨いた滞在型の体験型プログラムの造成・提供に取り組む。 加えて、大都市圏における商談会への参加、旅行会社への戸別営業等の展開を図るなど、プロモーション活動を積極的に展開し、誘客に取り組む。
○第2ターゲット層 体験型学習を希望する子供（含教育旅行）
○選定の理由 長年教育旅行の受入に取り組み、ある程度の実績も積み上がってきている地域があるが、高まる体験型観光を希望する家族層のニーズも把握し、魅力あるメニューを更に提供することで、受入数が大きく飛躍するチャンスがあることから、ターゲットに設定した。
○取組方針 教育旅行に関する要望を基に、地域資源を最大限に活用した教育旅行向け・家族向けの体験プログラムを開発し、これまで、あまり受け入れ実績の無い関東地域や、欧米地域にもプロモーション範囲を広げ、商談会等でアピールする。
○第3ターゲット層 スポーツや地方の多種多様な文化に関心を持っている外国人

(資料1)

○選定の理由

- ・ 2020年東京オリンピックの開催、ワールドマスターズゲームズ2021関西で、サーフィン、トライアスロン、アクアスロン、カヌーがエリア内2町の地域で開催され、海外からも多数の観光客が見込まれること
- ・ 四国霊場八十八カ所遍路をする外国人が増えてきていること
- ・ 政府の方針として、都市圏等に集中している訪日外国人観光客を地方に分散させる施策に取り組んでいること
- ・ 訪日リピーターが新たな目的地を求めていること
- ・ 徳島阿波おどり空港で、国際チャーター便や香港便季節運行が就航するなど、国際便の定期便化を視野に入れており、訪日外国人観光客にとって、アクセスの利便性が向上すること

○取組方針

2020年東京オリンピックに向けたプロモーションやワールドマスターズゲームズ2021関西の枠組みでのプロモーションを行うとともに、徳島阿波おどり空港国際便就航先(香港)でのプロモーション、単独では、海外メディアや旅行会社、パワーブロガー等を招聘し情報発信に努めるとともに、多言語表記、通訳ボランティアなど人材育成による受け入れ環境整備を図る。

(3) コンセプト

①コンセプト	「お接待文化」が息づく世界レベルの癒やしの空間～「四国の右下」～
②コンセプトの考え方	「四国の右下」徳島県南地域には、海・山・川が揃う「豊かな自然」、農村舞台での阿波人形浄瑠璃をはじめとする「類い稀な伝統文化」、新鮮で安全・安心を誇る「豊富な食材」など、きら星のごとく素晴らしい「宝物」があり、ここを訪れる方々に遍路で培った「お接待の心」で「癒やしの場」を提供し、国際基準に準拠した「持続可能な観光地」を目指します。 ①「豊かな自然」 ・ 西日本で2番目に高い「剣山」、国内有数の清流であり、かつ世界有数の河口のサーフポイントがある「海部川」。 ・ 国立公園に指定されている海岸は、折り

	<p>重なる海岸段丘と亜熱帯性樹林が特徴的で、世界最大級、約千年の歴史があると言われる「千年サンゴ」などがある。</p> <ul style="list-style-type: none">・多様なアウトドアフィールドがダイナミックに揃った「四国の右下」は、まさに「アウトドアスポーツの楽園」。 <p>(サーフィンをはじめ、サイクリングや、アドベンチャーレース、マラソンなど、爽やかな汗をかくことができる数々のスポーツイベントを開催。)</p> <p><u>②「類い稀な伝統文化」</u></p> <ul style="list-style-type: none">・幽玄な農村舞台での阿波人形浄瑠璃をはじめ、世界遺産を目指している四国遍路の札所とこれらをつなぐ四国最古の遍路道である「かも道」や、お遍路さんに接することで育まれた「お接待の精神」。・「日和佐八幡神社秋祭り」や「大里八幡神社秋祭り」「牟岐八幡神社秋祭り」など、秋には毎週のように各地で郷土色豊かな祭りが行われるなど、古き良き伝統が引き継がれている。 <p><u>③「豊富な食材」</u></p> <ul style="list-style-type: none">・「海の幸」、「山の幸」、「里の幸」など豊かな自然が育んだ素材がもたらすあまたの料理は、ここ「四国の右下」でしか味わえない感動。・地域の力を結集して新たに開発されたプレミアムご当地グルメ「南阿波丼」、「南阿波鍋」、「南阿波スイーツ」は、互いに切磋琢磨して生み出された逸品。
--	---

5. 関係者が実施する観光関連事業と戦略との整合性に関する調整・仕組み作り、プロモーション

項目	概要
戦略の多様な関係者との共有	当法人の理事会で決定された戦略や事業計画等については、多様な関係者で構成される本法人の社員・賛助会員との情報共有を図っている。加えてワーキンググループとの情報共有、地域の観光・宿泊・飲食事業者等への個別訪問等を実施し、現場の課題や意見などをしっかりと吸い上げ、事業の改善や新設、重複調整などに取り組んでいく。
観光客に提供するサービスについて、維持・向上・評価する仕組みや体制の構築	地域の観光施設や宿泊施設等を利用した来訪者のアンケート調査の分析結果を総会やワーキンググループにフィードバックすることにより、観光客に提供するサービスの維持・向上・評価する体制を構築している。
一元的な情報発信・プロモーション	個人旅行者へは、単なる情報提供ではなく利用者目線に立った当法人のWebサイトにおいて、1市4町の一元的な情報発信とSNS等を有効に活用したプロモーションに取り組んでいる。旅行会社に対しては、徳島県や一般財団法人徳島県観光協会、一般社団法人四国ツーリズム創造機構等が国内外で実施する商談会等に地域の事業者と連携して参加し、併せて旅行会社への戸別営業を行っている。 また、情報発信・プロモーションの実施にあたっては、単独で実施するのではなく、広域連携DMOの四国ツーリズム創造協会や徳島県観光協会との拓割分担の上、連携を図りながら取り組んでいる。 更に、当エリアの観光の魅力を違った切り口でPRするため、「四国の右下観光局PRアンバサダー制度」を新たに創設。影響力のある著名IT企業の代表取締役をアンバサダーに迎え、首都圏を中心とした全国の企業関係者等へのPRに取り組んでいる。

(資料1)

6. KPI (実績・目標)

(1) 必須KPI

指標項目	単位	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
●旅行消費額	千円	—	23	24	25	26	27
●延べ宿泊者数 (内インバウンド)	万人	19.1 (2.4)	18.6 (3)	19.6 (4)	20.7 (6)	22.3 (9)	23.0 (11)
●来訪者満足度	%	—	24	25以上	25以上	25以上	25以上
リピーター率	%	—	83	83	84	84	85

※年次及び目標数値の設定にあたっての検討の経緯及び考え方

【検討の経緯】

2018年度に当法人が実施したKPIに関する調査結果を分析の上、DMOの運営や方針を検討する一般社団法人四国の右下観光局理事会、当法人の取組を支援・検証する「四国の右下・魅力倍増」推進会議や外部評価会議、宿泊・観光施設などの関連事業者が参画した市町別ワーキンググループにおいて、必須KPIの設定と考え方について検討。2019年度以降の目標値については、一般社団法人四国の右下観光局理事会、「四国の右下・魅力倍増」推進会議、市町別ワーキンググループにおいて説明・了承。

【設定にあたっての考え方】

調査結果及び今後開催される世界規模のイベントによる誘客効果、外国人旅行者の増加傾向、当法人のPR活動の充実などを総合的に勘案し、目標値を設定。

(資料1)

(2) その他の目標

指標項目	単位	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
●WEBサイトのアクセス数	日	—	320	465	600	790	1,020
●WEBサイト宿泊予約数	件	—	27	88	154	220	306
●WEBサイト体験プログラム予約数	件	—	1	40	100	180	270

【検討の経緯】

平成30年度にWEBサイトを立ち上げ、WEBサイトから宿泊予約や体験プログラム等を申込できるように予約システムを構築しており、利用実績を収集・分析することで、商品価値の高い観光素材の発掘と更なる磨き上げを行い、滞在時間や、旅行消費額の増加につなげていく。

【設定にあたっての考え方】

平成30年度に初めて収集したデータを分析し、今後のWEBサイトの充実やスマートフォンに最適化したサイトの開設等を踏まえ、目標値を設定。

(資料1)

7. 活動に係る運営費の額及び調達方法の見通し

(1) 収入

年度	総収入 (円)	内訳
平成30年度	20,472,000 (円)	【「四国の右下・魅力倍増」推進会議からの負担金】 18,800,000 円 【徳島県等からの委託金託金】 806,000 円 【会費収入】 240,000 円 【手数料・広告料】 116,000 円 【寄附金】 510,000 円
令和元年度	36,590,000 (円)	【「四国の右下・魅力倍増」推進会議からの負担金】 27,400,000 円 【徳島県等からの委託】 500,000 円 【会費収入】 390,000 円 【手数料・広告料】 300,000 円 【旅行商品売上】 2,000,000 円 【民間企業等からの寄付等】 6,000,000 円
令和2年度	40,200,000 (円)	【「四国の右下・魅力倍増」推進会議からの負担金】 33,000,000 円 【徳島県等からの委託】 1,500,000 円 【会費収入】 600,000 円 【寄付金】 200,000 円 【手数料・広告料】 900,000 円 【旅行商品売上手数料】 4,000,000 円

(2) 支出

年度	総支出	内訳
平成30年度	20,472,000 (円)	(内訳の区分例) 【一般管理費】 14,213,000 円 【事業費】 4,815,000 円 国内プロモーション 815,000 円 国外プロモーション 637,000 円 マーケティング(市場調査等) 1,031,000 円 PR(新聞・雑誌等) 1,395,000 円 イベント開催費(講座・セミナー) 279,000 円 各種調査費 165,000 円 その他(支払手数料等) 493,000 円 【資産】 1,444,000 円

(資料1)

令和元年度	36,590,000 (円)	【一般管理費】 14,600,000 円 【事業費】 13,750,000 円 国内プロモーション 525,000 円 国外プロモーション 2,015,000 円 マーケティング(市場調査等) 5,560,000 円 PR(新聞・雑誌等) 1,000,000 円 イベント開催費(講座・セミナー) 1,050,000 円 各種調査費 100,000 円 その他(支払手数料等) 3,500,000 円 【旅行業登録経費】 6,440,000 円 【旅行商品仕入支出】 1,800,000 円
令和2年度	40,200,000 (円)	【一般管理費】 21,800,000 円 【事業費】 14,800,000 円 国内プロモーション 800,000 円 国外プロモーション 2,100,000 円 マーケティング(市場調査等) 6,600,000 円 PR(新聞・雑誌等) 3,000,000 円 イベント開催費(講座・セミナー) 1,800,000 円 各種調査費 300,000 円 その他(支払手数料等) 200,000 円 【旅行商品仕入支出】 3,600,000 円

(3) 自律的・継続的な活動に向けた運営資金確保の取組・方針

- ・ 関連事業者からの会費や寄付の増収
- ・ 行政からの委託事業の受託推進
- ・ 保険取扱業務やネット通販による手数料収入の増収
- ・ 旅行商品の造成・販売等による収入増加の仕組づくりの検討 (第2種旅行業登録)
- ・ パンフレットやHP等における広告収入の可能性についても検討

8. 日本版DMO形成・確立に対する関係都道府県・市町村の意見

徳島県、阿南市、那賀町、牟岐町、美波町、海陽町は、一般社団法人四国の右下観光局を当該県及び市町における地域連携DMOの本登録をしたいので、平成30年に日本版DMO候補法人に登録された一般社団法人四国の右下観光局とともに申請します。

(資料1)

9. 記入担当者連絡先

担当者氏名	松本 優二
担当部署名 (役職)	一般社団法人四国の右下観光局 事務局次長
所在地	徳島県海部郡美波町奥河内字弁才天17-1
電話番号 (直通)	0884-70-5880
FAX番号	0884-70-5881
E-mail	matsumoto@shikokunomigishita.jp

10. 関係する都道府県・市町村担当者連絡先

都道府県・市町村名	徳島県
担当者氏名	兼市 良徳
担当部署名 (役職)	徳島県南部総合県民局地域創生部 (美波) 課長
所在地	徳島県海部郡美波町奥河内字弁才天17-1
電話番号 (直通)	0884-74-7393
FAX番号	0884-74-7337
E-mail	kaneichi_yoshinori_1@pref.tokushima.jp

都道府県・市町村名	那賀町
担当者氏名	幾田 博行
担当部署名 (役職)	那賀町役場にぎわい推進課・地積調査室 課長
所在地	徳島県那賀郡那賀町和食郷字南川104-1
電話番号 (直通)	0884-62-1198
FAX番号	0884-62-1177
E-mail	hiroyuki-ikuta@naka.i-tokushima.jp

都道府県・市町村名	牟岐町
担当者氏名	田中 繁樹
担当部署名 (役職)	牟岐町役場産業課 課長
所在地	徳島県海部郡牟岐町大字中村字本村7-4
電話番号 (直通)	0884-72-3419
FAX番号	0884-72-2716
E-mail	s-tanaka@mugi.i-tokushima.jp

(資料1)

都道府県・市町村名	美波町
担当者氏名	島村 春男
担当部署名 (役職)	美波町産業振興課 課長
所在地	徳島県海部郡美波町奥河内字本村18-1
電話番号 (直通)	0884-77-3617
FAX番号	0884-77-1666
E-mail	shimamura.haruo@minami.i-tokushima.jp

都道府県・市町村名	海陽町
担当者氏名	戎谷 悟
担当部署名 (役職)	海陽町商工観光課 課長
所在地	徳島県海部郡海陽町穴喰浦字穴喰362
電話番号 (直通)	0884-73-1234
FAX番号	0884-73-3097
E-mail	ebisudanisatoru@kaiyo-town.jp